

W杯終盤戦向け スノボス波抱負

県体協を訪問

スノーボードのワールドカップ（W杯）を転戦中のアルペン男子日本代表・ス波正樹（ジャパンファクトリー



県体育協会です。今季の戦況を語るス波正樹（ジャパンファクトリー・山形南高出）

・山形南高出）が8日、山形市の県体育協会を訪れ、残る2戦に向けての抱負を語った。

今季は全10戦の各レースで16位以内を目標に掲げている。初戦は11位だったものの、その後は予選敗退や失格など思ふような成績を残せなかつ

たことについて、「新しい道具を試して集中できなかった」と説明。先月の第6、7戦は17位、21位と調子を取り戻してきているとし、「16位以内に必要なタイムはコンマ差しかない。今は、来季の出場枠を確保できる世界ランク30位以内におり、このまま維持したい」と述べた。

母校教諭らが激励金

また同日、母校も訪問し、教諭有志らが寄せた激励金10万円を受け取った。

一時帰国中のス波は13日に再び出国し、イタリア（18日）、スイス（24日）での終盤戦に挑む。